

令和2年度 第73回東京都中学校野球秋季大会 要項

1. 目的 この大会は、中学校野球の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
東京都中体連スローガン 「スポーツ界の明るい未来を開こう」
2. 主催 東京都中学校体育連盟
3. 主管 東京都中学校体育連盟野球部
4. 後援 あきる野市教育委員会、(公財)東京都軟式野球連盟、ナガセケンコー株式会社、読売巨人軍、(株)共同写真企画、大塚製薬株式会社
5. 期日会場 令和2年10月17日(土) 1・2回戦 江戸川区河川敷グラウンド・葛飾区第二柴又野球場
18日(日) 2・3回戦 葛飾区第二柴又野球場
24日(土) 3回戦 あきる野市民球場・日本大学第二高等学校野球場
瑞穂町立瑞穂中学校・東大和市立第三中学校
25日(日) 準々決勝 東村山市立東村山第七中学校・桐朋中学校
日野市立日野第一中学校
31日(土) 準決勝・決勝戦・閉会式 あきる野市民球場
※予備日 11月1日(日)、11月3日(火) 修徳高等学校野球場
*比例配分制による代表決定戦 10月10日(土) 瑞穂中学校・国立第二中学校・稲城第六中学校
6. 参加資格 (1) 東京都中学校体育連盟に加盟し、各支部・ブロック主催による、地区大会・ブロック大会において都大会出場資格を得た中学校とする。また、東京都少年新人軟式野球大会(東京都軟式野球連盟主催)に本部推薦で出場した中学校。比例配分制により都大会出場資格を得た中学校。合同チームについては合同チーム編成承認願を提出し承認されていること。
(2) 選手は東京都中学校体育連盟野球部に登録した者に限る。硬式野球リーグに所属、登録している者は出場できない。
(3) 部長(引率責任者)は教員(校長、副校長、教諭、部活指導員)に限る。
(4) 監督は教員・部活指導員または外部指導者に限る。監督が教員・部活指導員の場合は、外部指導者1名がコーチとしてベンチ入りすることができる。教員はコーチとして登録できない。
(5) 外部指導者(コーチ)は、校長が認め、東京都中学校体育連盟に申請書を提出し、承認された20歳以上の者とする。教員は外部指導者として認めない。
(6) 参加資格の特例
①学校教育法134条の各種学校(1条項以外)の生徒については、規定に従い予選をへて、都大会への参加資格を得た場合は、出場を認める。
②複数校の合同チームについては、都大会への出場を認める。
(7) 合同チームは同ブロック内で2校以上の合同を認める。(詳細は東京都中学校体育大会実施要項による)
(8) 東京都中学校体育連盟及び同野球部が示す新型コロナウイルス感染症防止対応策を遵守できること。(参加にあたり、試合当日の提出書類については別紙参照のこと)
7. 引率 部長(引率責任者)は出場校の校長、副校長、教諭とする。
8. 参加者数 (1) 1チームは部長1名、監督1名、コーチ1名(教員は不可)、選手20名以内(スコアラーを含む)の計23名以内とする。
(2) 監督は出場校の校長、副校長、教諭、部活指導員及び校長が認めた外部指導者とする。
(3) ベンチ入りを認められた外部指導者はチームの登録名簿に監督またはコーチとして登録し、その任務に当たる。(運動部指導者証を携帯する)

(4) 校長・副校長または教頭は、これ以外にベンチに入ることができる。

9. 参加費 1校7,000円【試合当日、受付時に】
各校登録人数分以上のプログラムを購入する。1部300円【試合当日に受付時に】
10. 競技規則 2020年公認野球規則・全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会特別規定による。
11. 競技方法 (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
(2) 得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差・5回以降7点差とする。
但し、決勝戦には3回以降10点差は適用しない。
(3) 降雨、日没等のため試合続行が不可能と判断した場合、試合成立は5回とし、得点差があれば、コールドゲームとする。(全試合に適用する)
(4) 延長戦は、最長9回までとし、全試合についてタイブレーク方式を適用する。但し、突発的事態が起きたときや決勝戦には適用しない。
(5) 全試合にサスペンデッドゲームを適用する。
12. 使用用具 (1) 大会使用球は、(財)全日本軟式野球連盟公認球(M号)とする。
(2) その他の使用器具は、(財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
(3) スパイクシューズは黒一色とする。
(4) 背番号は1～20とし、原則ポジション順とする。
(5) 打者・走者およびベースコーチは、ヘルメットを着用する。
(6) 捕手はレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガードを装備する。
控え捕手も同様とする。ファウルカップは装備する事が望ましい。
13. 表彰 (1) 優勝校には、賞状・優勝旗(持ち回り)・優勝盾・優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝校には、賞状・準優勝盾・準優勝メダルを授与する。
(3) 第3位校には、賞状・第3位盾・第3位メダルを授与する。
14. 参加申込 大会本部が作成した所定の登録用紙とプログラム原稿並びにプログラム購入冊数・キーホルダー購入個数表に必要事項を記入し、指定された受付先にメール送信すること。また、登録用紙は公印を押したものを大会の試合当日に本部に提出する。
令和元・二年度ハンドブックに記載されている登録名簿作成上の注意事項を熟読のこと。
東京都中体連野球部公式ホームページを参照のこと。 <http://ctr-tokyo-baseball.com/>
15. 会議 代表者会議は中止とします。10月6日(火)午後3時より役員・ブロック責任者の代理抽選とします。
組み合わせ抽選、大会要項、大会特別規定、競技確認事項を主な内容とする。
運営に関する役員会を開催する。
場所：世田谷区立砧中学校 電話：03-3417-2367
16. その他 (1) 準決勝進出校には本部推薦により、全日本少年軟式野球東京都大会への出場権を与える。
(2) 上記(1)に出場校には本部推薦により、都中学校野球選手権大会への出場権を与える。
(3) 大会中の不慮の負傷・疾病についての応急処置は、各チームで対応できるよう救急薬品の用意をしておくこと。
(4) 大会期間中における傷害などは、学校教育活動であるので「日本スポーツ振興センター法」の定めを適用とする。
(5) 本大会における防災対策と災害発生時の対応に関する心構えとして東京都中学校体育連盟が示す大地震発生時の危機管理に関する資料を参考にする。
17. 連絡先 (1) 大会前 東京都中学校体育連盟野球部長 小沼 和徳
青梅市立新町中学校 電話 0428-31-0411
(2) 大会期間中 役員会で連絡する。